

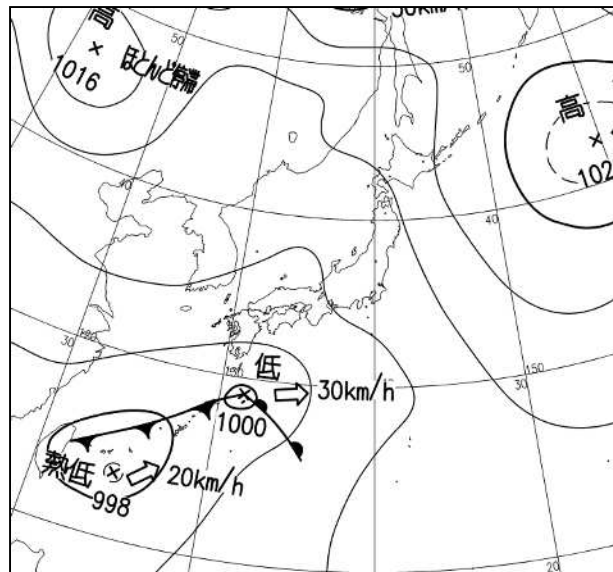
低気圧と前線による大雨について

梅雨前線上の低気圧が発達しながら北東に進み、12日には関東地方の東岸に達する見込み。低気圧や前線に向かって南から湿った空気が流れ込むため、大気の状態が不安定となる見込み。

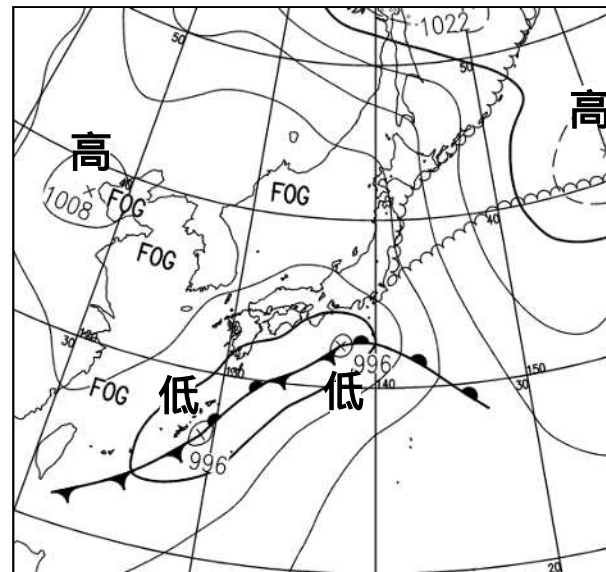
関東甲信地方では11日夕方から12日朝にかけて、東北地方では12日、雷を伴った激しい雨が降る見込み。12日6時までの24時間に予想される雨量は、多いところで、関東甲信地方で150ミリ、東北地方で100ミリ。その後も関東甲信地方、東北地方では12日夜にかけてさらに雨量が増える見込み。

6月の月平均降水量を大幅に上回るこれまでの大雨で地盤が緩んでいるところがあるため、土砂災害に警戒。低い土地の浸水、河川の増水に注意。

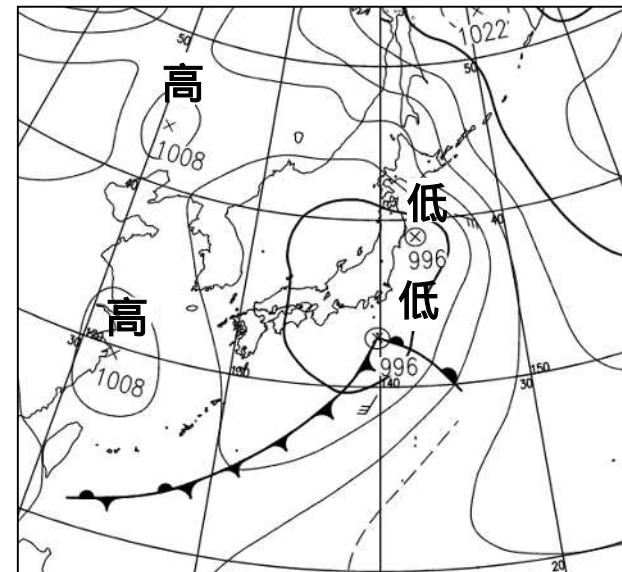
伊豆大島でも、今夜遅くから1時間に30ミリ以上の激しい雨が降る見込み。



実況天気図 6月11日6時



予想天気図 6月11日21時



予想天気図 6月12日21時

6月2日からの降水の状況

期間降水量(6月2日~11日08時:速報値)

ときがわ(トキガリ:埼玉県ときがわ町)
508.0ミリ
(6月の月降水量平年値:145.7ミリ)

大島(オオシマ:東京都大島町)
241.5ミリ
(6月の月降水量平年値:337.8ミリ)

古江(フルエ:宮崎県延岡市)
502.0ミリ
(6月の月降水量平年値:369.4ミリ)

尾鷲(オセ:三重県尾鷲市)
566.5ミリ
(6月の月降水量平年値:405.7ミリ)

窪川(クボカハ:高知県四万十町)
636.0ミリ
(6月の月降水量平年値:400.8ミリ)

